

令和5年度（2023年度）

金沢大学法科大学院

入学試験問題

刑 法

B日程入試

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は2枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。
5. 解答にあたっては、どの問題から解答しても構いません。ただし、どの問題についての解答であるのかを答案中に明示してください。

令和5年度（2023年度）金沢大学法科大学院入学試験問題

試験科目	刑	法
------	---	---

以下の問題について解答しなさい。

問題1（各5点）

以下の語句あるいは概念を説明しなさい。解答の際は、定義だけを記述するのではなく、学説の議論状況や判例の状況など解答すべき内容を問題に応じて自ら選択し、具体的な事例を自ら設定したうえでそれぞれ解答用紙5行程度で解答すること。

- (1) 胎児性致死傷
- (2) 盗品等関与罪の保護法益

問題2（15点）

次の事例におけるXおよびYの罪責を論じなさい。ただし、盗品等関与罪および特別法違反の点は論じる必要はない。

Xは、友人Yが金欠で生活に困っているから、資産家と名高いAの家に盗みに入るつもりだと話していたため、Yに対し音を立てずに侵入するための開錠用道具を提供した。

翌日深夜YはA宅に向かい、門扉を乗り越え敷地内に入り1階窓に向かったが、同夜は気温が高かったためAは窓を開けたまま就寝しており、YはXから提供された開錠用道具を使うことなくA宅に入り込み、タンスにしまわれていた現金350万円とネックレス5点（時価200万円相当）を持ってきた鞆に入れてそのまま立ち去った。A宅にはA以外の者は現在しておらず、YはAに対しては何らの危害も加えていない。

さらに翌日、YはXを訪れ、「君のおかげでうまく行った。ありがとう」と述べて開錠用道具を返却した。その際Yは、道具を貸してもらった謝礼として、現金10万円をXに贈与した。この贈与は事前に取り決められたものではない。

以上